

KAGAWA アンバサダーからのお便り

～アンジェラ・デービスさん～

～県民の皆様へのメッセージ～

美しい景色に恵まれている香川県の皆様へ、遠いイギリスからご挨拶いたします。

2022年に、2年半のCOVID期間中のロックダウンのあと香川県へ戻ることができてとても幸せなことでした。久しぶりに故郷に帰ってきたような気がしました。

今年の活躍としてはいつものように一所懸命、香川県観光のPRを進めています。

～自身の活動について～

過去2年間の香川県のPR活動実績と今年の計画を報告いたします。

既にもう1年中、同じく協会と団体に日本語の学習指導、学校でのプレゼンテーション等が依頼され、予約してあります。そのプレゼンテーション中の香川県の写真などを見せます。

毎年の夏にマンチェスターの南方にあるTatton Park（タットン公園）の日本庭園でお祭りが開催されます。その時も香川のPRができました。

イギリスのドキドキという日本的なイベントに参加しました。あそこでは香川県のPRもしています。

その他、2か月おきに、リヴァプール市内の本格的な日本レストランで日本語を話そう会も主催しています。

今後とも、香川アンバサダーとして、香川県のPRの促進を続けるように頑張っていきます。

～イギリスの歴史や観光について～

英国、即ち、イギリスはイングランド、スコットランド、ウェールズ、北部アイルランドからなり立ち、日本とは多くの類似点もあり、又多くの相違点もあります。日本と同じく英国は島国であり、同様に両国とも皇室を戴いています。然し、悲しいことに、昨年9月、70年間に亘り、統治され国民に敬愛された女王エリザベス2世が崩御され、現在チャールズ三世が国王に就任されています。

英国の姿は現在大きく変化しています。今でも多くの人々は英国は紳士が、ロンドンの中心部に位置する金融街シティ・オブ・ロンドンを細い縦縞の背広を着て山高帽子をかぶり、鞆を抱えている姿を思い浮かべるのですが、其の様な英国は変わったのです。



地元女性学者のグループの講演



「日本語を話そう会」の様子

今や、我が国は多文化主義社会となり、異なった民族、宗教、文化に取り囲まれていると言えるでしょう。

私のリヴァプール市は高松市と同じく海岸通りに面した港町であり、嘗てアメリカとの貿易が最も盛んであった時代は英国西部の大いなる北西部の港町として栄えていました。當時、20キロの長さの埠頭がマージー・エストレイ川に沿って並んでいたのです。現在はヨーロッパとの貿易が盛んになり東海岸の港町が繁栄しています。然し、リヴァプールのウオター・フロントは未だに印象的であり、ビジネス仕様に建て替えられた建物や高級マンションが建ち並んでいます。そのほか、ウオター・フロントの真ん中には、Beatles（ビートルズ）4人の像があります。リヴァプールには十九世紀末に建てられた美しい三つの建物、特に3 Gracesがあります。建造物ばかりではありません。ロンドンとは別にしても、リヴァプールには多くの公園、緑の空間が広がって立っています。又、カソリック教と英国国教教「写真」の二つの大聖堂があり、英国国教大聖堂の中に置いているパイプオルガンはヨーロッパ最大のものであります。



3 Graces 3つの 優美さのある建物
左：Royal Liver Buildings（王立ライヴァービル）
中：Cunard Building（キューナードビル）
右：Port of Liverpool Building（リヴァプール港ビル）



リヴァプール市にある
ビートルズの像



◇KAGAWA アンバサダーについて

香川の魅力を世界へ発信するとともに、本県の諸課題に対する情報提供、活動、提言等を行っていただく大使です。主に世界を舞台に活躍している香川県出身者や県にゆかりのある方で、各界から候補者の推薦を受け、識者による選考後、知事が委嘱しています。

◇KAGAWA アンバサダーからのお便りについて

県民の方々に KAGAWA アンバサダー事業及び県の国際化の推進について、より理解を深めていただくことを目的に、世界を舞台に活躍されている KAGAWA アンバサダーの方々から在任国や御自身の活動等について御紹介いただくものです。

アンジェラ・デービスさん

1987年に初代国際交流員として来県。イギリス帰国後は、日本庭園のコーディネーターとして国際イベントで活躍。2013年、日本と英国との相互理解の促進における功績を認められ外務大臣表彰受賞。2017年、憲法記念日知事表彰、直島町教育委員会表彰受賞。